

# 貸借対照表

2022年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 62,526 】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 11,186 】</b>
現金及び預金	11,498	未払金	5,940
売掛金	7,424	未払法人税等	35
商品	29,581	預り金	413
前払費用	2,075	賞与引当金	2,550
未収入金	4,325	資産除去債務	2,222
前渡金	7,620	前受金	25
<b>【固定資産】</b>	<b>【 10,891 】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 90,000 】</b>
(有形固定資産)	( 87 )	長期借入金	87,000
工具、器具及び備品	87	資産除去債務	3,000
(無形固定資産)	( 604 )		
ソフトウェア	604	負債の部合計	101,186
(投資その他の資産)	( 10,199 )	純 資 産 の 部	
繰延税金資産	1,752	<b>【株主資本】</b>	<b>【 Δ27,769 】</b>
敷金保証金	8,446	(資本金)	( 10,000 )
		(利益剰余金)	( Δ37,769 )
		繰越利益剰余金	Δ37,769
		純資産の部合計	Δ27,769
資産の部合計	73,417	負債及び純資産の部合計	73,417

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個 別 注 記 表

〔 自 2021年9月10日  
至 2022年3月31日 〕

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商品・・・・・・・・・・・・・・・・最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年間）に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・従業員の賞与の支払に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

主に玩具、雑貨等の企画、デザイン、販売等を行っております。

商品の販売については、商品を顧客に引き渡した時点で収益を認識しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる事項

のれんの償却方法及び償却期間

のれんは発生年度に全額償却しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

・発行済株式の総数

株式の種類	当期末の株式数（株）
普通株式	1,000